

地域家族しんちゃんハウス通信

放課後児童クラブ版11月号

2023年11月1日(水)発行 No.264

<南林間しんちゃんハウスのみなさんへ>

1	水	
2	木	
3	金	文化の日
4	土	南林間小学校50周年/休所日
5	日	
6	月	小学校代休のため休所
7	火	
8	水	FMやまと77.7MHz(9:00~.15:00~.21:00~)
9	木	
10	金	
11	土	詩吟教室10:00~南林間コミセン
12	日	
13	月	子供食堂はぐく7:15
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	FMやまと77.7MHz
23	木	勤労感謝の日
24	金	11月生まれさんのお誕生日会
25	土	休所日/詩吟教室10:00~南林間コミセン
26	日	
27	月	子供食堂はぐく7:15
28	火	
29	水	
30	木	

新1年生入所説明会
南林間コミセン
13:30~14:30

<西鶴間しんちゃんハウスのみなさんへ>

1	水	
2	木	
3	金	文化の日
4	土	休所日
5	日	
6	月	
7	火	栄養講話3回目*2年生以上対象
8	水	FMやまと77.7MHz(9:00~.15:00~.21:00~)
9	木	
10	金	
11	土	詩吟教室10:00~南林間コミセン
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	西鶴間小学校わくわくフェスタ
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	FMやまと77.7MHz
23	木	勤労感謝の日
24	金	11月生まれさんのお誕生日会
25	土	休所日/詩吟教室10:00~南林間コミセン
26	日	子供食堂はぐくドゥー(食事は11:30~12:30)
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	

新1年生入所説明会
南林間コミセン
13:30~14:30

*予定表は変更される場合がありますのでご了承ください。

世の中に子育てほど"楽しい仕事"はありません。

だって、私たちの未来を創ることであり、未来の幸せを可能にする仕事だから。



認定NPO法人 地域家族しんちゃんハウス 理事長 館合 みち子

メール: info@shinchanhouse.com URL: http://www.shinchanhouse.com/

<南林間しんちゃんハウス> 園242-0006 大和市南林間7-1-15 TEL/FAX 046-275-7955

<西鶴間しんちゃんハウス> 園242-0006 大和市南林間6-7-3 TEL/FAX 046-207-4693

インスタグラムはじめました!!
【地域家族しんちゃんハウス】
という名で『大切なこと』を
発信しています!
こちらから見るができます。



放課後児童支援員のお仕事

秋も一段と深まる季節となりました。しんちゃんハウスでは来年の新1年生を迎えるための準備が始まり、時の経つ早さを実感しています。時々保護者の方より「公園に毎日連れて行ってくれるのですか？」「支援員と一緒に遊んでくれるのですか？」と質問されることがあります。勿論、関わりながら遊び方を一緒に確認したり、折り紙や工作など一緒



に楽しみながら作ることはありますが、基本は一緒に遊ぶことが支援員の仕事ではありません。遊びは大人がやらせるのではなく「やってみたいな」という気持ちが芽生え自発的にするものです。ゲームはスイッチを入れれば受動的にどんどん進んでいきますが、しんちゃんハウスでの遊びは将棋やけん玉、トランプ、オセロなど自分で考え、相手がいて楽しむものが多いです。同級生や異学年の子と遊ぶことで低学年はルールや我慢を学び、高学年は思いやりや責任感を養います。子どもたち同士を繋げ、安全で安心して過ごせるよう見守ることが私たちの仕事です。でもただボーッと見ている訳ではありません。お迎えの時などに、いつも支援員が同じ位置に座っていることをご存知でしょうか？部屋の中に死角を作らないよう、「見ていなかった」ということが無いように部屋の隅々まで見渡せる配置を考えています。意識をして見ていると子ども達の少しの変化に気付くことができます。いつも元気いっぱいなのにじっと座っていたり、ゴロゴロしている。いつも頬っぺたがピンク色なのに今日はちょっと違う。夏休みなどは給食も提供しているので、ご飯の食べ方も。いつも以上に食べたり、食べられなかったり。体調が悪い事が原因の時もありますが、精神的な事が原因の時もあります。そんな時は熱を測ったり、前の日に眠れたか聞いたり、お話してみたりしています。気持ちが落ちている時、自分を包んでくれる愛情や優しいメッセージに気付くことができたなら、今よりもっと優しい気持ちになれるはず。お預かりしている子どもたちは皆我が子と同じ。「みんな大好き」が子ども達と一緒に過ごす上での大前提です。

今年の夏も子どもが巻き込まれる悲しい事件が沢山ありました。長い人生には自分だけでは抱えきれない問題が起こることもあります。そんな時、ひとりで頑張るのではなく誰かに相談したり、SOSを出すことができたなら。ぽきんと心が折れてしまう前に優しい言葉に出会えていたらもっと皆が生きやすい社会になると、悲しいニュースを見るたびそう願わずにはいられません。何事もマイナスではなく、プラスに考えられるように。誰かに依存するのではなく、自分の足で立つことが出来るような大人になって欲しい。それには安心して過ごせる環境づくりと日々の観察が欠かせません。また、子どもたちもそれぞれですが、支援員もそれぞれ。性格も考え方も皆違います。切り口は違い、皆さんに伝える言葉も違うかもしれませんが、大人も子どもも誰かに無理に合わせたりする必要はなく、多様な人間がいるのだと理解し、相手の気持ちも尊重できるようになれば良い。支援員は色々ですが、根っこの部分の考え方は一緒。そのためにいつでも共有できるよう、日々の情報交換は欠かせません。そんな私たちが子どもたちが一番良く分かっている、何か頼みに来るときなど、支援員の使い分けがとても上手です。それでも大丈夫。大人だから偉いわけでもなく、私たちだって間違えることもあります。

間違えたらやり直せば良いし、きちんと「ごめんなさい」が言えれば良いのだと思います。子は親の鏡という詩があります。親ではありませんが、ここぞのタイミングを見逃さず、子どもたちの瞳に映る自分たちを意識しながら日々を過ごして行きたいと思います。



理事 / 放課後児童支援員 石川 由子